令和７年度県立高等学校教育課程課題研究（工業）

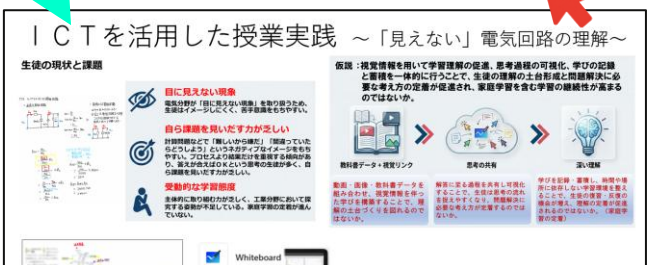
あいちの教育

学習指導要領の趣旨を踏まえ、これからの時代に求められる資質・能力の育成に向けた授業実践

①クリックすると外部の動画サイトへ移動します。

②元のページに戻る場合は、ブラウザの“戻る”ボタンを御利用ください。

県立豊田工科高等学校



電気分野において、ＩＣＴを活用した授業実践の報告。多様な視点からの気付きや、深い理解、知識の定着、自信の向上をねらい、視覚的な情報提示、解法の共有・比較ができる環境やクラウドへの学習蓄積ができる環境を構築した。解答の共有に抵抗を示す生徒への個別支援の重要性も明らかになり、今後はＩＣＴと対面指導を融合させた、より効果的な学習環境を目指す。

県立岡崎工科高等学校

生成ＡＩの普及に伴い、生成ＡＩの基礎的な活用法に加え、批判的思考力と倫理観を育む授業実践。知識の習得から生成物の評価までを段階的・体系的に構築した。多くの生徒が「生成ＡＩは有用だが、最終判断は人間が行うべき」という不可欠なリテラシーを身につけた。言語能力や情報活用能力、問題発見・解決能力といった力の育成にも効果が見込めると感じる。

県立一宮起工科高等学校

生徒の想像力と創造力の育成を目的としたロボット実習の実践報告。協働ロボット「COBOTTA」を活用し、生徒自らが課題を解決し教え合う環境の構築。知識・技術の定着だけでなく、主体性や対話力といった人間的成長や学習意欲の向上を図り、自ら考え行動できる「自走する技術者」の育成を目指す。

県立碧南工科高等学校

本研究は、高大連携のオンライン建築授業によって、生徒の興味と進路意識の向上を目指した。大学教員による専門的な講義と双方向のオンライン授業による学びにより、生徒の理解度や満足度、興味・関心が高まった。生徒の中には、建築コンペ挑戦や大学生との交流など具体的な行動変容が見られ、地域の建設業界を担うキャリア形成にも効果があった。

県立鶴城丘高等学校

ＭＲ技術を活用した空間構築実習を通して、生徒が３Ｄ制作からＶＲ体験まで主体的に学ぶ環境を整えた。その結果、自己効力感が大きく向上し、ＩＣＴ機器を創造の手段として捉える姿勢や学習意欲、系列への誇りが育まれた。ＭＲ活用は生徒の意識変容に有効な教育手法であることが示された。